

飯塚市の2017年の十大ニュース

1	片峯市政始動
2	市役所新庁舎開庁
3	姉妹都市サニーベール市との経済交流本格化へ
4	車いすテニスで筑豊ハイツがスポーツ庁からナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定され、2020年東京パラ、南アフリカの事前キャンプ地内定
5	飯塚の子どもたち、スポーツで大活躍
6	市立小中一貫校幸袋校、穂波東校が完成
7	嘉麻市・桂川町とともに大学との包括連携協定締結
8	「I LOVE 遠賀川」が30回目を迎え、実行委が九州地方整備局国土交通行政功労表彰を受賞
9	待機児童の解消に向け、保育士支援制度を創設
10	会員制交流サイト(SNS)の運用開始

1位は「片峯市政の始動」

飯塚市が十大ニュース発表

飯塚市は22日、今年の大ニュースを発表し、1位に片峯誠市長の市政始動を選んだ。前市長の賭けマイジャンによる引責辞任を受けて実施された2月の市長選で初当選した。

2位は、2015年3月に着工した新庁舎(新立岩)が今年5月8日に開庁したことを選んだ。3位は姉妹都市サニーベール市との経済交流の本格化。9月にグレン・ヘンドリックス市長が飯塚市を訪れ、11月には片峯市長らがサニーベール市を訪問した。ほかに、今

筑豊総局

0948(22)3500

FAX 0948(22)3503

直方支局

0949(26)1361

田川支局

0947(42)2205

年で33回目になる飯塚国際車いすテニス大会の実績が評価され、南アフリカの事前キャンプ地に内定したことや、全国大会での活躍が目立った市内の小中高生の奮闘をランキングに盛り込んだ。

十大ニュースは、職員が挙げた23項目を基に、市の部長級(11人)が点数を付け、片峯市長が最終決定した。

片峯市長は「未来に向けてチャレンジしたいことを列挙したが、一定の計画期間があることをあらためて実感した。財源と相談しながらやらなくてはならない難しさ、プレッシャーも感じた」と語った。

筑豊